

# 学府だより

令和2年9月10日  
第2号

事務局（向笠小）

学府教育目標：「地域を愛し、生きる力を身に付け、国際社会に対応できる児童生徒の育成」

## アンケート調査への御協力、

## ありがとうございました！



過日は、向陽中学校区の「子どもたちに付けたい力」に関するアンケート調査への御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。結果ならびに考察を皆様へお伝えするとともに、今回のアンケート結果を、今後の小中一貫教育推進への参考資料とさせていただきます。

### 向陽中学校区一斉アンケート調査概要

#### 1 目的

向陽学府小・中学校における小中一貫教育を更に推進するため、共通の「子どもたちに付けたい力」を設定し、9年間を見通した教育活動を一層充実したものにしたいと考えました。そこで向陽中学校区の「子どもたちに付けたい力」に関するアンケート調査を実施して、地域や保護者の思いを、今後の小中一貫教育の推進に反映していくこととしました。



☆学びを深め合う子どもたち【大藤小】

#### 2 方法

※◇保護者・・・令和2年8月10日実施（いわたホットラインによる） ◇地域・・・令和2年8月上旬実施（紙媒体による）

##### (1) 調査対象

- ア 向陽学府内小・中学校に在籍する児童生徒の保護者 442名  
イ 向陽学府内小・中学校の学校運営協議会委員等 68名（地域代表）

##### (2) 質問紙の構成

向陽中学校区の小中学校の職員で話し合い、これまで各学校が大切にしてきた目標や願いを踏まえて、子どもたちに付けたい力の主なものとして、「主体性」「たくましさ」「こころざし」「地域貢献」「やさしさ」の五つに仮設定しました。

※順位付けや上位に選ばれた力のみを大切にしていくということではありません。

#### 3 結果

「表1 小中一貫教育アンケート 4校集約」に示す通り、保護者も地域の方々も、概ね同じような傾向が見られました。どちらも子どもたちに目指すものとして「やさしさ」を選ぶ割合が最も高く、それぞれ全体の30%を超えています。次いで多かったのは「主体性」「たくましさ」です。この二つについては、保護者も地域の方々もあまり差がありませんでした。

「地域貢献」「こころざし」については、先に紹介した三つのものと比較すると、割合は下がるものの、この二つだけを比較すると保護者と地域の方々では傾向に違いがみられることがわかります。保護者は、夢をもち、より良い人生を切り拓く力としての「こころざし」が、「地域貢献」を大きく引き離していますが、地域の方々はこの二つに差はあまり見られませんでした。

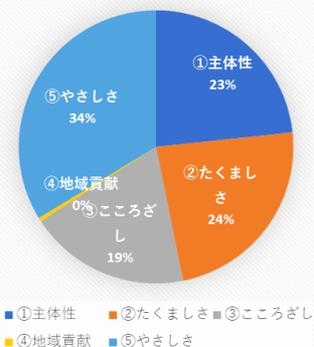


☆全校で取り組む一輪車【岩田小】

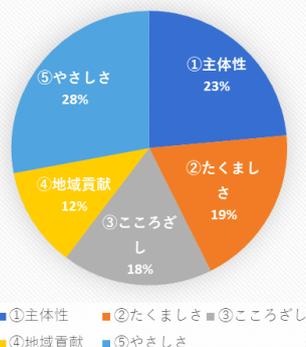
【表1 小中一貫教育アンケート 4校集約】

《保護者》						《地域》							
	①主体性	②たくましさ	③こころざし	④地域貢献	⑤やさしさ	合計(%)		①主体性	②たくましさ	③こころざし	④地域貢献	⑤やさしさ	合計(%)
平均	23.3%	23.5%	19.0%	0.5%	33.7%	100.0%	平均	23.5%	19.1%	17.6%	11.8%	27.9%	100.0%

保護者アンケート結果



地域アンケート結果



☆体育大会に向けての長縄練習【向陽中】

#### 4 考察

子どもたちが将来活躍すべく社会は、今まで以上に激しく変化し、予測困難な時代になると言われています。そのような社会に羽ばたいていく子どもたちに、保護者・地域が最も強く求める姿として「やさしさ」を挙げています。これは、目の前の課題に対して、お互いに助け合い、支え合い、そして高め合いながら協力して解決に導いてほしいという願いの表れだと考えられます。そのためには、まず相手の心を深く理解しようとする「寛容さ」が必要となり、お互いの良さや違いを認めようとする「尊重」の姿勢が必要となります。これらが「やさしさ」の根源になるとも言えます。

しかし、お互いに協力することと相手に依存することは似て非なるものです。協力して課題解決に導くためには、まず自分自身の考えを強くもち、その考えを発信する姿勢（「主体性」）が必要になります。さらには簡単にあきらめず、粘り強く仲間と議論しようとする姿勢（「たくましさ」）も必要となります。したがって、「やさしさ」と「主体性」「たくましさ」はお互いに関連し合った姿であるとも言えます。

向陽学府内小・中学校の教員で協議すると、必ず向陽中学校区の子どものたちの良さの筆頭として「やさしさ」が出てきます。教員から見て子どもたちは十分に優しいのにもかかわらず、保護者や地域の方は「やさしさ」を子どもたちに強く求めています。これは、大人からの愛情を感じ大人との付き合いは上手でも、子どもたち同士で合意形成を図り協働することに慣れていないという小規模校ならではの課題に憂慮し、感情をコントロールする、建設的に主張するなどのスキルを身に付け、豊かな人間関係を構築できるよう育ててほしいと願う、保護者や地域の方の学校に対する強い願いの表れと感じました。

一方、「こころざし」「地域貢献」の割合は、他と比較すると高くはありませんでした。こうした態度は、「やさしさ・主体性・たくましさ」の態度を目指していく様々な取組や経験の中でゆっくりと醸成されていくものであると考えます。したがって、「やさしさ・主体性・たくましさ」の態度を目指していくことが「こころざし」「地域貢献」にもつながっていくものと考えます。



☆ファミリ-（縦割り）で夏休みの思い出を紹介し合う【向陽小】

今後も地域や家庭との連携を図りながら、児童生徒の健やかな成長のために、よりよい一貫教育を推進していきますので、より一層の御理解と御協力をお願いします。